

「挨拶に始まり、挨拶に終わる」(229人の城南桜)

校長 赤木 完治

挨拶に始まり、挨拶に終わる城南中学校



『魅せる城南魂! 咲かせ城南桜!』本校の朝の挨拶運動は、この横断幕の下で始まる。この横断幕は、以前お知らせしたように本校PTAの協力で、「見守り活動の一環」として作成してもらったものです。本校の挨拶運動は、原則、学校職員とPTAが中心になって行われていますが、生徒会主催の様々な挨拶運動も並行して実施されます。新入生歓迎・募金・選挙など学校行事に併せて企画されます。その中でも異色なのは、市長さんの学校訪問時に実施された「世界の朝の挨拶運動」。これは、「世界20か国の言葉で、全校生徒に挨拶をする」もので、市長さんも感心し

きり。同席したPTAからは、「〇〇国の朝の挨拶、初めて聞いた」「おもしろ



い」などの声が聴かれ、逆に「□□国は何て挨拶するの?」と質問が出たり、朝からエンジン全開です。また、授業中や休み時間の校長巡回時に廊下を履きながら廻っていたら「いつもきれいにしてくれて、ありがとうございます」と声をかけてくれる生徒もいます。帰りの下校指

導は、生活委員会の生徒と教職員総出で挨拶運動が展開されます。「自転車組は左側、徒歩組は右側に分かれて、1列に並んで下校していく様子」は、まさに本校の風物詩であり、素晴らしいの一言です。元気な「さようなら!」「また明日(あした)!」の声々は、本校が目指す「生徒や保護者、地域に寄り添う教育活動」推進の原動力です。これからも子どもたちの元気な挨拶の声、毎日本校に響き渡るよう、学校・家庭・地域・行政を4つの車輪として、しっかり走っていきたいと思いますので、何卒、ご理解とご協力のほど、よろしく、お願い申し上げます。

【子どもの成長(宝は磨いてこそ輝く)】

現在、3年生は第2回・第3回目の校長面談の真っ最中。一人ひとり、よく自分の将来を見つめ、考え、最上級生としての自覚を持って、皆、頑張っています。

その3年生との面談の一場面から。

【質問】「校則についてどうお考えですか」

【答え】「校則は大切なものなので、一生懸命守っていききたいと思います。」

【質問】「では、なぜあると思いますか」

【答え】「学校が決めたからです」・・・

確かにそうなのですが、なぜ決める必要があるのでしょうか?校則のない学校もあります。でも、いずれにせよその目的は一緒です。「自分で自分を見つめ、当たり前前の事を実践し、社会人としての素養を磨くため」が理由の一つ。中学生は、その過渡期にあるとても多感な時期で、「大人と小人が半々」。子どもたちの表現は、一人ひとり違って当たり前。だからこそ、柔軟かつ個に応じた対応が大切です。「学校・家庭・地域社会に生きる私たち大人が、後姿をしっかりと見せ、夢ある未来へと共に導いていきましょう!」

「いつ見せるの?」・・・『今でしょ!!!』